

【発行所】  
埼玉土建技能士会

〒331-0811  
埼玉県さいたま市北区吉野町  
2-220-3  
電話：048-661-8139  
http://www.saitama-doken.com  
発行人：和田 三郎



二級建築士受検準備講座

組合の講座他の講習機  
関に比べ30万円お得だ  
け内容が遜色なし！この  
講座で建築士を目指し  
ましょう！

- 【日程】 1月11日(土)
- 【申込】 支部事務所
- 【受講料】 16万円

# 小島選手金賞受賞

今年、8月に開催された青年技能競技大会で小島選手が金賞を受賞。12年ぶりに参加の、10月に開催された技能五輪全国大会で、成川選手が敢闘賞を受賞しました。

## 青年技能競技大会

8月27日(土)から29日(月)にかけて、第32回全建総連主催・全国青年技能競技大会が徳島県「徳島市アクティとくしま」で開催されました。

今大会には全国36県連・組合の予選を勝ち抜いた73人の青年大工が出場し、埼玉土建からは小島優選手、高橋豊喜選手、丸山真弘選手の3人が出場し、技を競い合いました。28日(日)午前9時から競技大会本選が始まり、小島、高橋、丸山の3選手は一齐に原寸図の作成に取り掛かりました。

3選手共に柱のねじれの調整、面取り、木口の仕上げなど、少しでも精度を上げるため試合終了まで作業を続け、午後3時45分、3人全員が作品を完成させ競技が終了しました。

翌日の結果発表では、入賞で高橋選手がよばれ、銅賞、銀賞と受賞者が報告される中で講師と随行者・小



▲ 小島優選手

島選手本人も祈るような気持ちの中で小島選手が金賞と報告がありうれしくて歓喜極まるものがありました。競技大会役員でもあった奥野副委員長を先頭に、選手一同は閉会式を終えたその足で、埼玉土建本部会館を訪れ、報告会を行いました。報告の中で、小島選手は「講師や皆さんのおかげで金賞がとれた。これからも精進をかさね組合活動にも奮闘する」と語り、高橋選手は「後輩に先を越された。ここに立っているのも悔し

い。この気持ちをばねに来年こそ金賞をとって全建総連北海道大会に参加する」と次年度への思いを語りました。全国大会最後の参加となる丸山選手は「中部支部からの援助もありがたかった。来年は年齢基準で参加できないが他の競技大会で頑張りたい」とのべ、3選手共に、今後に向けた決意を語ってくれました。

## 技能五輪全国大会

10月21日(金)から24日(月)にかけて、山形県寒河江市の市民体育館を中心に、第54回技能五輪全国大会が開催されました。

技能五輪大会は、23歳以下の青年技能者が、職人日本一を決める五輪(オリンピック)大会です。41職種から1318人の選手が集い、世界大会の選考会も兼ねた大会です。優勝者は来年のアブダビで開催される技能五輪世界大会に出場します。

埼玉県からは16職種に52人が出場。埼玉土建では、建築大工職種の出場選手として、成川弘将選手(熊谷)が出場しました。建築大工職種には、全国から82人の選手が参加しました。



▲ 成川弘将選手

課題は、寄棟屋根と切妻屋根を設けた「ひし屋形小屋根」でした。この課題を11時間45分の制限時間内に、現寸図、部材削り、墨付け、刻み、組み立てまで行います。

初日は、寒河江市市民体育館の競技会場で、競技場所を決める抽選と競技説明、使用材料を確認した後、午後から会場を天童市にある山形総合運動公園体育館に移してから、開会式が行われました。



▲ 左から丸山選手・小島選手・高橋選手

付けの作業へと進みます。会場に訪れた多くの観客の中には、応援に来た選手の家や仲間の姿もありました。この日のために、仕事を犠牲に練習を積んできたことを知っているだけに、心の中で、選手と一体となり闘うまなざしで、見つめ続けます。3日目の競技2日目は、観客が見守る中、成川選手は部材を組み上げ、制限時間十分前に見事作品を完成させました。

最終日の24日は、結果発表と閉会式が行われ、高校を卒業して半年で初挑戦となった成川選手は、惜しくも三賞には届きませんでした。だが、敢闘賞を獲得し、難課題にもかかわらず大健闘しました。

成川選手は大会で感じた手心えを胸に、一層の技術・技能の向上を誓い、来年の栃木大会では金賞をとる決意を胸に会場を後にしました。



▲ 有料コーナーも大繁盛

# ものづくり技能フェスタ

ものづくり技能フェスタ・ものづくり大学「碧蓮祭」が10月29日、10月30日の二日間開催され、両日で延べ68人の技任対部役員と技能士会の仲間が参加し、物販、実演コーナー、各種

体験コーナーなどに取り組みました。昨年に引き続き、県からの補助金により実施した無料体験コーナー「マイはし作り」に83人、別に開催した有料体験コーナー「タイルアート」「コマ作り」「彫金アート」「菓箱作り」「ミニプランタン作り」に213人、合計296人の来場者がものづくりを楽しみました。また、ものづくり大学の学生向けに建築大工職種と家具職種の技能競技大会がものづくり大学・埼玉県技能士会連合会・埼玉土建・建設埼玉の4者による共催として開催され、萩原陽一さん(加須・大工)が審査委員を務めました。なお実演コーナーでは、青年技能競技大会で金賞を受賞した小島優さん(越谷・大工)が、四方転び踏み台の実演を披露しました。



る共催として開催され、萩原陽一さん(加須・大工)が審査委員を務めました。なお実演コーナーでは、青年技能競技大会で金賞を受賞した小島優さん(越谷・大工)が、四方転び踏み台の実演を披露しました。

# 優秀施工者国土交通大臣顕彰式典

10月7日(金) 東京都港区のメルパルクホールで平成28年度優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター)及び青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰(建設ジュニアマスター)式典が開催され、埼玉土建で推薦した和田智一さん(ふじみ野・大工)が建設マスター、福島教仁さん(深谷寄居・大工)が建設ジュニアマスターとして顕彰を受けました。全体では、

建設マスター415人、建設ジュニアマスター106人が顕彰を受けました。建設マスター(優秀施工者国土大臣顕彰)は後進の指導・育成に貢献している建設技能者を表彰するもので、卓越した技能・技術を有する「ものづくりの名人」に送られます。建設ジュニアマスター(青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰)は、昨年から新たに創設されたもので、優秀な技術・技能を持ち、今後さらなる活躍が期待される青年技能者へ送られます。

# 優秀施工者受賞者の声

優秀施工者国土大臣顕彰 和田 智一(ふじみ野)

今回の受賞も選手時代から支えてくれた埼玉土建と全建総連のおかげです。これからも慢心することなく、仕事や組合活動、後進育成に取り組んでいきたい。



青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰 福島 教仁(深谷寄居)

今回の受賞を励みに、日々、腕を磨きながら、喜んでもらえるようないい家を作っていきたい。これからも毎日が勉強だと思いつつ、仕事に打ち込んでいきたい。



▲ 左:福島さん 右:和田さん

## 11月の主な日程

第24回彩の国職業能力開発促進大会

11月17日(木)午前9時45分受付  
さいたま市民会館うらわ

技能検定実技試験打合せ会議

11月24日(木)午前10時  
浦和合同庁舎5階会議室

技能五輪入賞選手結果報告会

11月25日(金)9時50分～  
埼玉県知事公館大会議室

技能士連合会会議

11月29日(火)午後2時～  
建設埼玉会館